

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）

現場説明付記事項

案内図・構内配置図

百周年時計台記念館 地下平面図

百周年時計台記念館 1階平面図

百周年時計台記念館 2階平面図

百周年時計台記念館 PH平面図・屋根伏図

百周年時計台記念館 南立面詳細図(1)

百周年時計台記念館 南立面詳細図(2)

百周年時計台記念館 南立面詳細図(3)

百周年時計台記念館 東立面詳細図(1)

百周年時計台記念館 東立面詳細図(2)

百周年時計台記念館 西立面詳細図(1)

百周年時計台記念館 西立面詳細図(2)

百周年時計台記念館 塔屋立面詳細図

百周年時計台記念館 北立面詳細図(1)

百周年時計台記念館 北立面詳細図(2)

百周年時計台記念館 北立面詳細図(3)

特 1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1 0

1 1

1 2

1 3

1 4

1 5

1 6

1 7

京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等 改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 京都市左京区吉田本町 （京都大学本部構内）

2. 完成期限 令和9年3月19日（金）

3. 建物概要

建物名称	百周年時計台記念館			
工種	修繕			
構造	RC・SRC			
階数	地上2階 地下1階			
建築基準法による	建築面積 (㎡)	2,779		
	延べ面積 (㎡)	6,621		
消防法施行令別表第一の区分	(7)			
改修面積 (㎡)	6,621			
備考	屋上防水改修 外壁改修			

4. 工事種目

○ 印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	建物別及び屋外	工 事 種 別			
	百周年時計台記念館				
○ 2 仮設工事	一式				
○ 3 防水改修工事	一式				
○ 4 外壁改修工事	一式				
・ 5 建具改修工事					
・ 6 内装改修工事					
○ 7 塗装改修工事	一式				
・ 8 耐震改修工事					
・ 9 環境配慮改修工事					

5. 指定部分 ・ 無 ○有 対象部分（ 塔屋（百周年時計台記念館） ）  
指定部分工期 令和 8年11月25日（水曜日）

6. 概成工期 ○無 ・ 有 令和 年 月 日（ 曜日） (1.2.1) [1.2.1]

	2026（令和8）年				2027（令和9）年			
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
塔 屋 (指定部分)		足場組		足場払				
		外壁改修						
本 館				足場組			足場払	
				外壁改修				
				防水改修				
大ホール		防水改修						

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

- (1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)（以下「標準仕様書」という。）
  - 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)（以下「改修標準仕様書」という。）
  - 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)（以下「文科仕様書」という。）
  - 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)（以下「文科改修仕様書」という。）
  - 工事写真撮影要領(令和5年9月)(文科省)
  - ・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
  - 建築工事標準詳細図(令和4年版)
  - ・

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

- 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。  
○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。  
○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
- 特記事項に記載の（ ） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の [ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の (( )) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の [[ ]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- ☐ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

1

各  
章  
共  
通  
事  
項

○ 施工条件

項 目

特 記 事 項

○ 適用区分

○ 風圧力  
風速 (V0= 32 m/s)  
地表面粗度区分 ( ・ I ・ II ○ III ・ IV )  
○ 積雪荷重  
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (三十二 )

○ 電気保安技術者、  
工事用電力設備の  
保安責任者

項 目 名	電気保安 技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊗
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

(1.3.3~4) [1.3.3~4]  
この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安 技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊗
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

この工事現場では、次の施工条件による。(1.3.5) [1.3.5]

- ⓐ 構内の行事等により作業が制限されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定すること。
- ⓑ 本工事建物周囲は研安機や護国機が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分に配慮すること。
- ⓒ 工事車両の通行時は交通整理員を配置し安全対策を講じること。
- ⓓ 工事用地および工事用地周辺においては適切な養生・清掃を行うこと。  
また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
- ⓔ 工事用地は、工事完成時に原状に復旧して返還すること。
- ⓕ 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
- ⓖ 臭気が発生する作業を行う際は、室内に臭気が流入しないように対策を講じること。
- ⓗ 穿孔工事等の騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
- ⓓ その他建物内や敷地周囲に影響があると想定される作業については、監督職員と協議を行い進めること。
- ⓔ 本工事建物は使用しながらの工事となるため、仮設計画時に建物内で行われる研究・教育活動に影響を与えない工法を選定すること。  
また、漏水対策並びに建物出入口等の使用に考慮した安全対策を講じること。

工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事

図面名称 特記仕様書（抜粋）

縮尺 —

設計日 令和8年6月

図面番号

特 1

工事施工上の注意事項

- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。  
工事車両は周辺道路路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入りができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。  
以下の日程は図録及び行事予定日からのため、作業中止として、工事の計画を立てること。
  - ・令和8年11月20日、11月21日、11月22日、11月23日（11月祭）
  - ・令和8年11月7日（ホームカミングデイ）
  - ・令和8年12月12日（特色入試）
  - ・令和9年1月16日、1月17日（大学共通テスト）
  - ・令和9年1月23日、1月24日（試験験）
  - ・令和9年2月25日、2月26日（一般入試）

その他、学校の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。

撤去工事その他大きな資機、振動等発生する場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。

教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。

6) 場内安全対策を実施し、特に、工事車両の通行を中止し、監督職員の手配を実施すること。

- 7) 工事場所内には火災予防のため適切な数量の消火器を設置することとし、工事関係者に対し、火災等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。

7) 危険な作業の場内安全対策を実施し、特に、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。

- 9) 工事用地は、他工事等常に良好な環境を保持すると共に工事完了時には状況に復旧して返還すること。
- 10) 同一構内での他工事の業者と良好な調整を密に行之、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
- 12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三）第二十五条の五に基づく受動喫煙対策を講ずること。

2 工事中の構内安全対策について




工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けること。

- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、管理機識板、交通規制機識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。

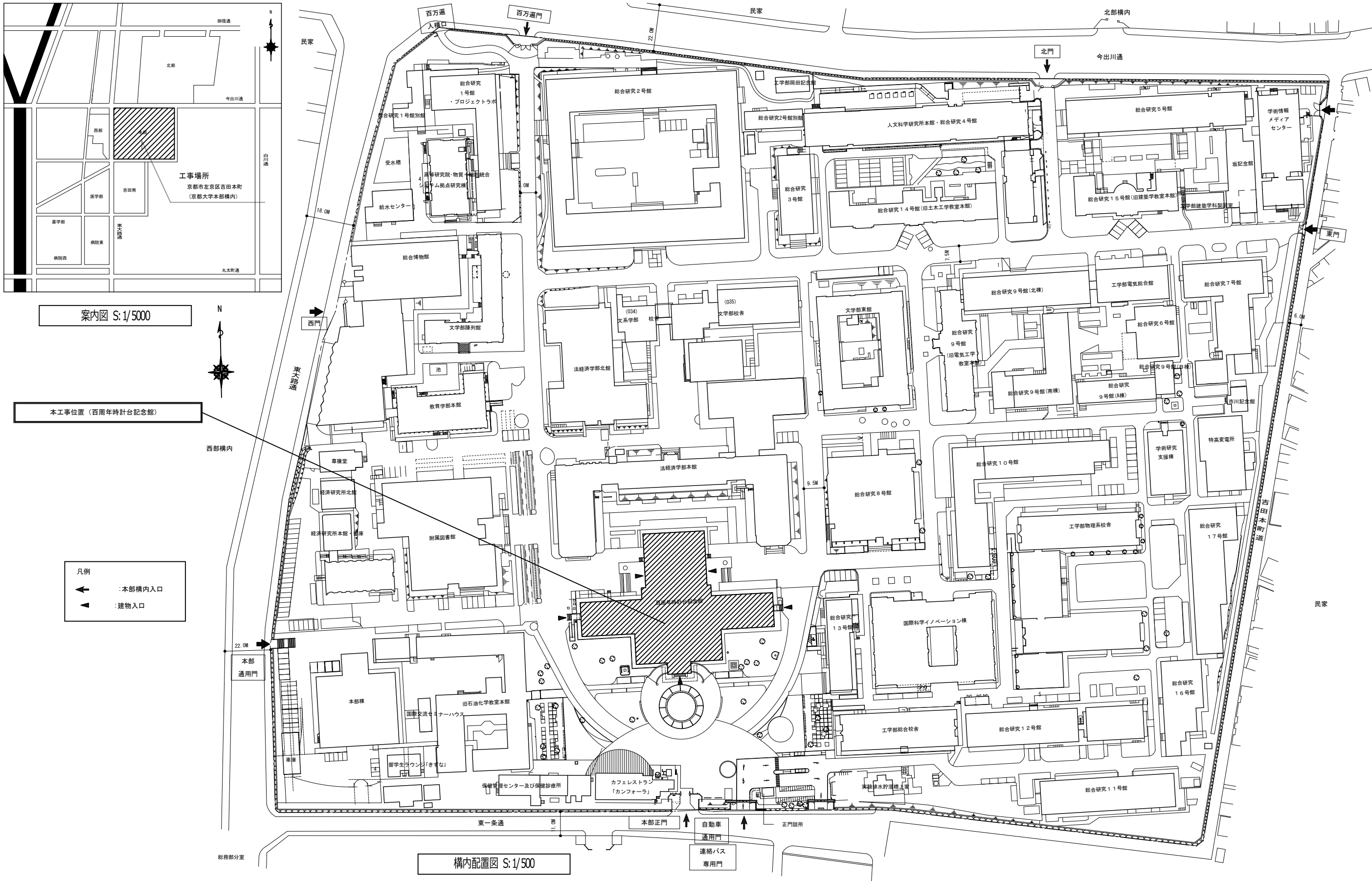
2) 構内通行及び喫煙防止のため、工事車両の通行を中止し、監督職員の手配を実施すること。

- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地味物設備、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明バネを設置する等安全確保に努めること。
- 7) 外部足場の場合は万能鋼板張りとし、第三者による立入禁止措置を徹底すること。
- 8) 外部足場には最大限の安全を、第三者の侵入を感知するシステムを導入すること。

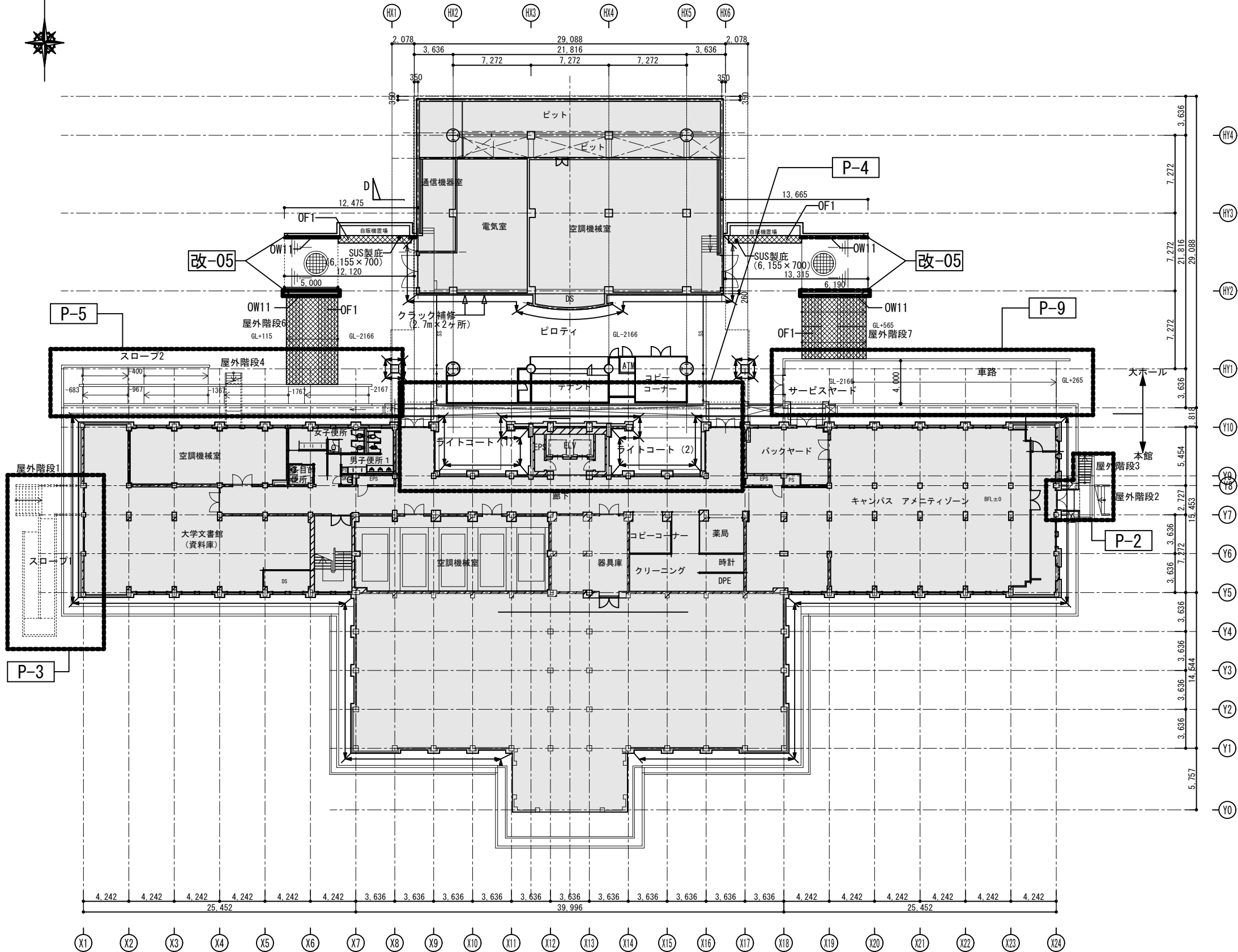


凡 例			
記 号	内 容	-----	フェンス
	本工事建物	←→	工事用車両進入経路
	別途工事	- - - - -	枠組足場W1800 D900（建物出入口は梁枠足場） 特記なし場合防音シート張り ※防音下張り部は万能堀 H=2.0mを設置 （外部足場への第三者立入禁止措置を徹底すること） ※梁枠足場・足場高さについては設計図参照
	工事用地① 350㎡（ネットフェンスにて区画済み） 工事用地② 234㎡		
Ⓔ	交通誘導員（大型車両搬出入時）		
Ⓖ	水道分岐位置		
Ⓔ	電力分岐位置		

工事名	京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号
図面名称	現場説明付記事項	縮尺 A1：200 A3：400	設計日 令和8年6月	1

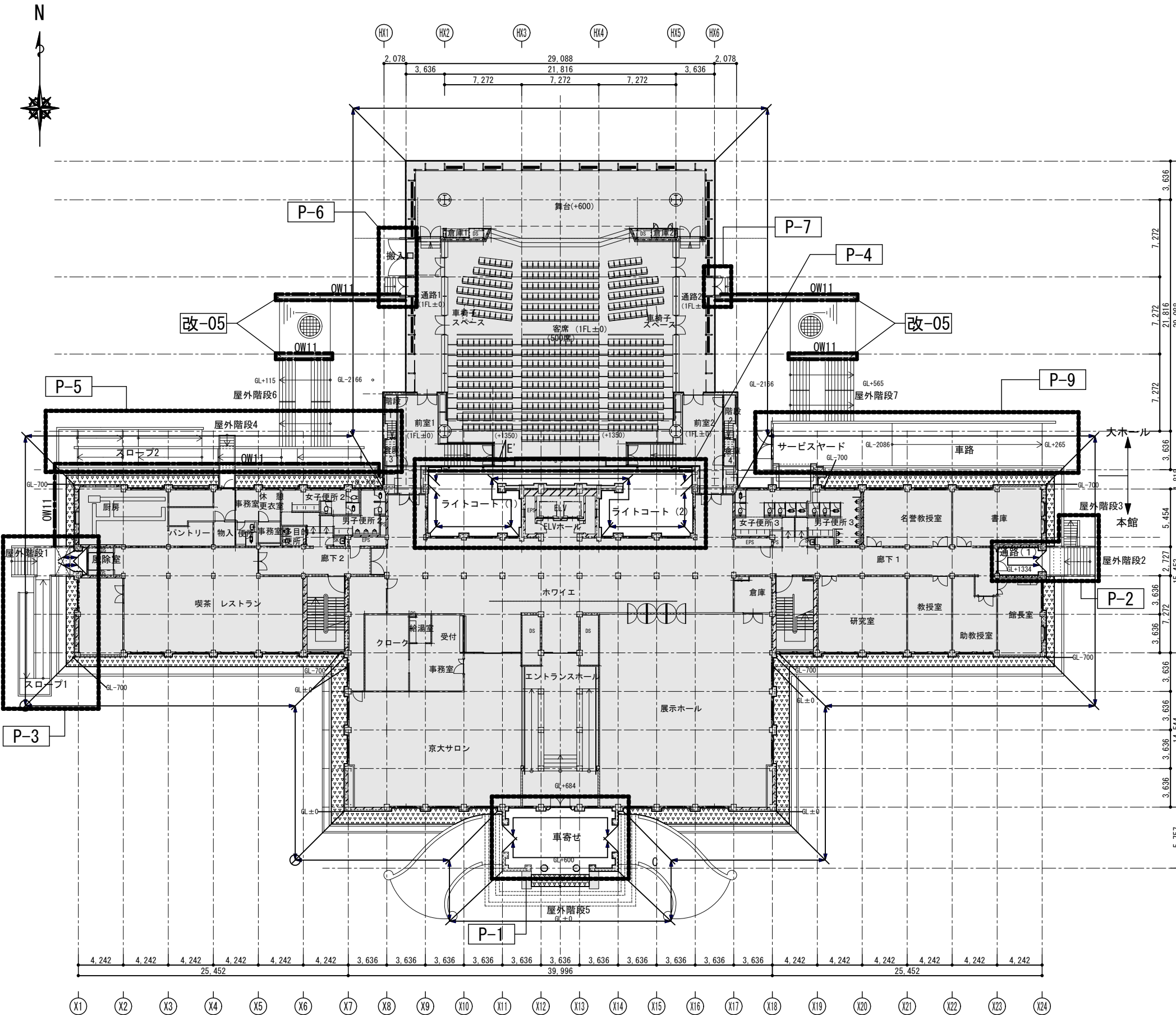


工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  2
図面名称  案内図・構内配置図	縮尺 A1: 図示 A3: 図示	設計日 令和8年6月	

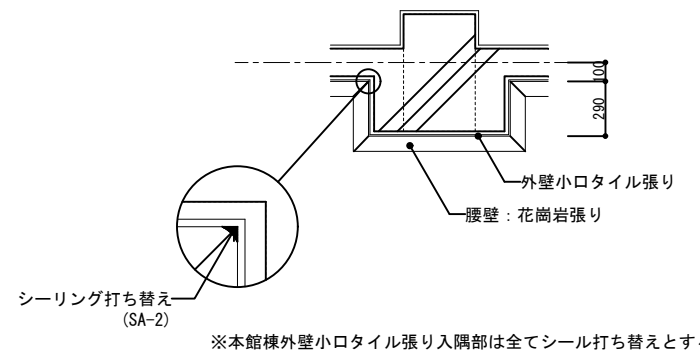


適用	符号	改修内容
○		改修範囲外
	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2） 設備機械基礎：既存防水モルタル塗面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（Y2）
	Y3	既存FRP防水面、高圧洗浄の上、 ウレタン塗膜防水（平場Y3：X-1）
	Y4 Y5	既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y4、立上り：Y5）
	Y6	既存ウレタン塗膜防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場、機械目隠し基礎、機械基礎：Y6）
○		外壁改修範囲（改修詳細は詳細図参照）
○		外構壁面部改修範囲（P-○、改-○部分は詳細図参照）
	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビシニング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄（100mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
	OW2	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビシニング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビシニング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
	OW4	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビシニング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OW5	既存花崗岩張り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
	OW7	既存ブラスター塗下地EP面、補修の上、EP塗替え
	OW8	既存コンクリート打放し補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法） 既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW10	既存アルミパネルt2.0面、高圧洗浄の上、超耐久・超低汚染型弱溶剤フッ素樹脂塗料塗
○	OW11	外構壁面部：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW12	外構壁面部：既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビシニング）人造石洗い出し部の50%程度 既存RC下地人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
○	OF1	外構部：既存磁器質タイル貼り面、花崗岩貼り面、SUS製庇、高圧洗浄
	OF2	外構部：既存コンクリート直押え、防水モルタル塗面、高圧洗浄
	GC1	軒天：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	GC2	軒天：既存ケイカル板EP塗面、EP塗替え
	GC3	軒天：既存ブラスター塗下地EP塗面、EP塗替え
	•	既存脱気装置（既存のまま）
○	P-○	部分詳細図参照
○	改-○	部分詳細図参照
特記事項		
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。		
既存窓下部分の花崗岩周囲はシーリング10×10打替えとする。		
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打替えとする。		
既存人造石洗い出し部分の形状寸法は詳細図による。		
建具下部花崗岩の形状寸法はA-10図及びA-11図による。		
高耐久ウレタン塗膜防水は手塗工法とする。		

工事名			図面番号
京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			
図面名称	縮尺	設計日	
百周年時計台記念館 地下平面図	A1:200 A3:400	令和8年6月	3



1階平面図・屋根伏図

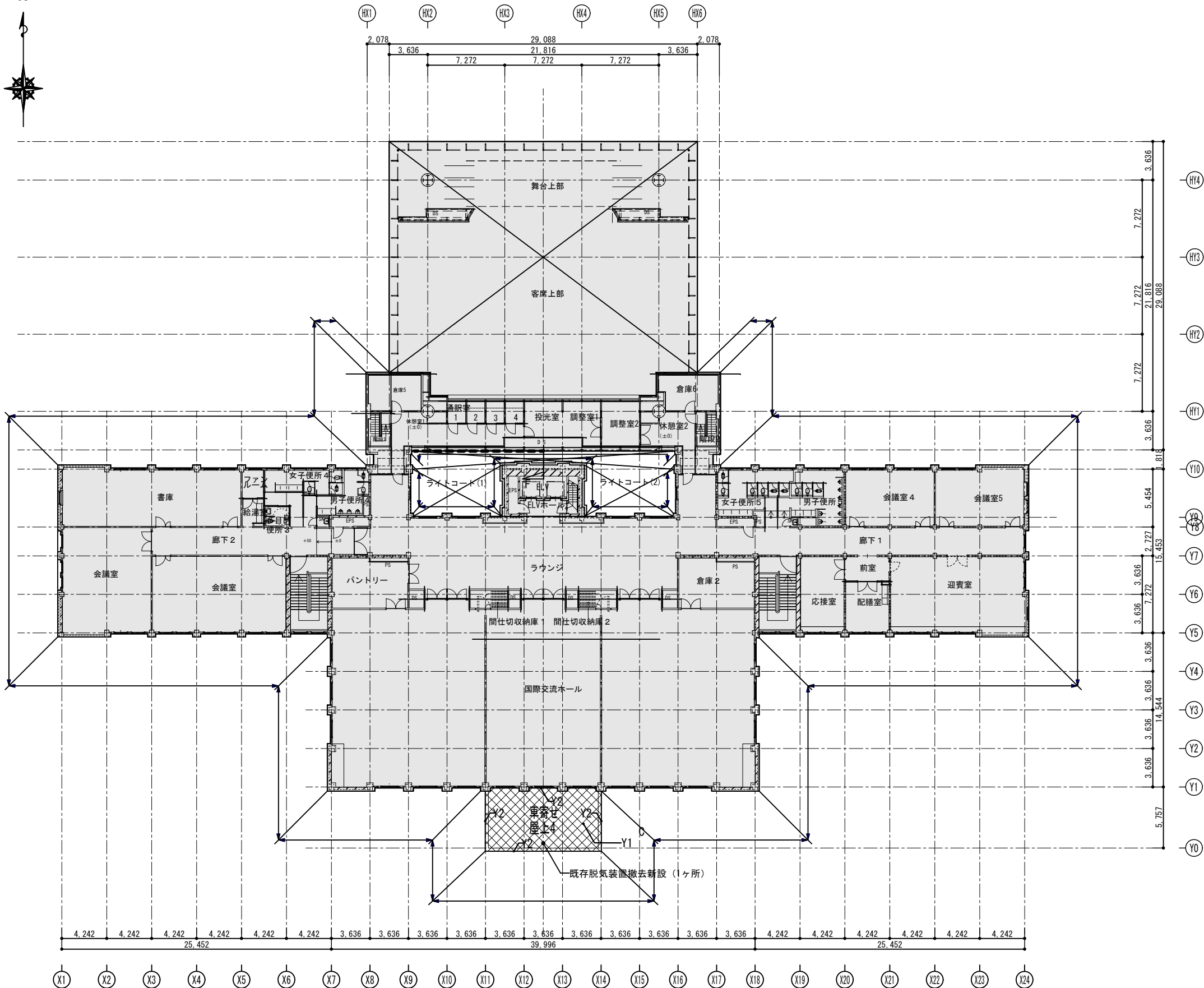


本館棟柱型共通図 S=1/20

適用	符号	改修内容
○		改修範囲外
	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2） 設備機械基礎：既存防水モルタル塗面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（Y2）
	Y3	既存FRP防水面、高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（平場Y3：X-1）
	Y4 Y5	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y4、立上り：Y5）
	Y6	既存ウレタン塗膜防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場、機械目隠し基礎、機械基礎：Y6）
○		外壁改修範囲（改修詳細は詳細図参照）
○		外構壁面部改修範囲（P-○、改-○部分は詳細図参照）
	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄（100Mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
	OW2	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
	OW4	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OW5	既存花崗岩張り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
	OW7	既存プラスター塗下地EP面、補修の上、EP塗替え
	OW8	既存コンクリート打放し補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法） 既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW10	既存アルミパネルt2.0面、高圧洗浄の上、超耐久・超低汚染型弱溶剤フッ素樹脂塗料塗
	OW11	外構壁面部：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW12	外構壁面部：既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存RC下地人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OF1	外構部：既存磁器質タイル貼り面、花崗岩貼り面、SUS製庇、高圧洗浄
○	OF2	外構部：既存コンクリート直押え、防水モルタル塗面、高圧洗浄
	GC1	軒天：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	GC2	軒天：既存ケイカル板EP塗面、EP塗替え
	GC3	軒天：既存プラスター塗下地EP塗面、EP塗替え
	•	既存脱気装置（既存のまま）
○	P-○	部分詳細図参照
○	改-○	部分詳細図参照
特記事項		
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。		
既存窓下部分の花崗岩周囲はシーリング10×10打替えとする。		
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打替えとする。		
既存人造石洗い出し部分の形状寸法は詳細図による。		
建具下部花崗岩の形状寸法はA-10図及びA-11図による。		
高耐久ウレタン塗膜防水は手塗工法とする。		

工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  <b>4</b>
図面名称	縮尺	設計日	
百周年時計台記念館 1階平面図	A1:200 A3:400	令和8年6月	



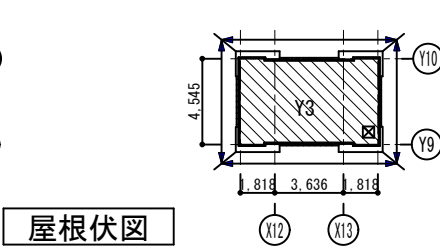
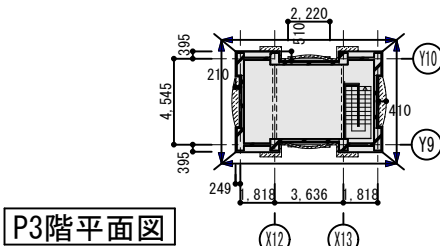
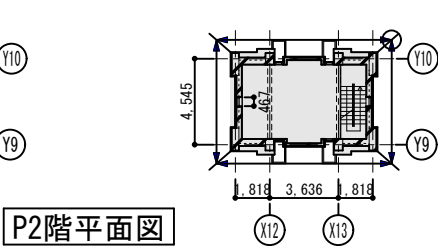
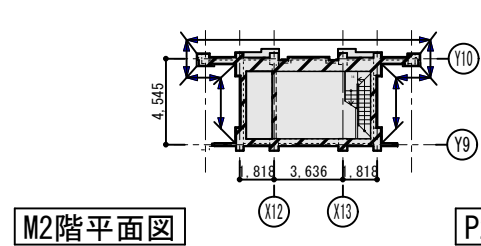
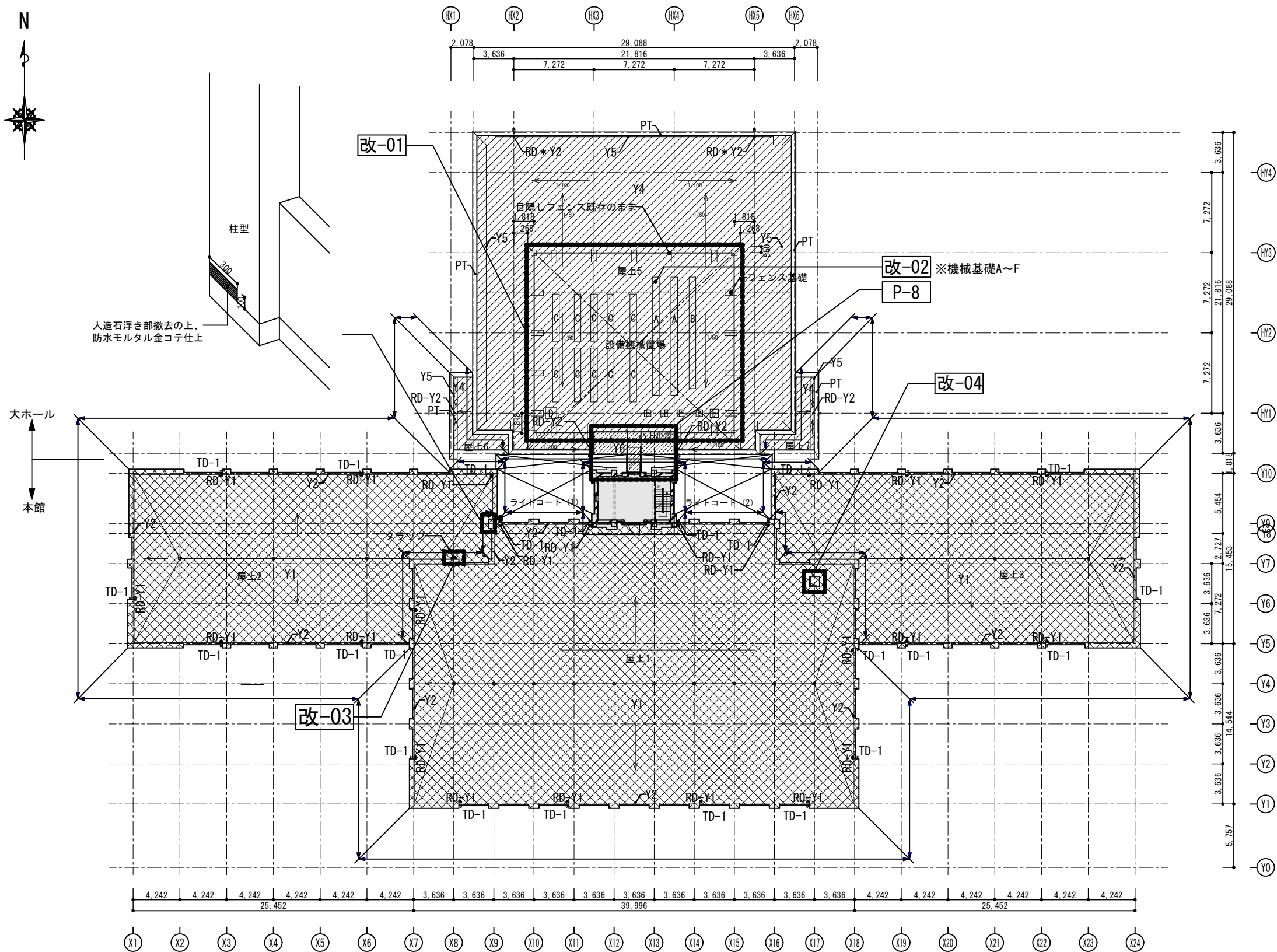


適用	符号	改修内容
○		改修範囲外
○		Y1 Y2 既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2） 設備機械基礎：既存防水モルタル塗面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（Y2）
		Y3 既存FRP防水面、高圧洗浄の上、 ウレタン塗膜防水（平場Y3：X-1）
		Y4 Y5 既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y4、立上り：Y5）
		Y6 既存ウレタン塗膜防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場、機械目隠し基礎、機械基礎：Y6）
○		外壁改修範囲（改修詳細は詳細図参照）
		外構壁面部改修範囲（P-○、改-○部分は詳細図参照）
	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄（100mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
	OW2	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
	OW4	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OW5	既存花崗岩張り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
	OW7	既存プaster塗下地EP面、補修の上、EP塗替え
	OW8	既存コンクリート打放し補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法） 既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW10	既存アルミパネル t 2.0面、高圧洗浄の上、超耐久・超低汚染型弱溶剤フッ素樹脂塗料塗
	OW11	外構壁面部：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW12	外構壁面部：既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存RC下地人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OF1	外構部：既存磁器質タイル貼り面、花崗岩貼り面、SUS製庇、高圧洗浄
	OF2	外構部：既存コンクリート直押え、防水モルタル塗面、高圧洗浄
	GC1	軒天：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	GC2	軒天：既存ケイカル板EP塗面、EP塗替え
	GC3	軒天：既存プaster塗下地EP塗面、EP塗替え
○	●	既存脱気装置（既存のまま）
		部分詳細図参照
		部分詳細図参照

特記事項

- 外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。
- 既存窓下部分の花崗岩周囲はシーリング10×10打替えとする。
- 既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。
- 既存人造石洗い出し部分の形状寸法は詳細図による。
- 建具下部花崗岩の形状寸法はA-10図及びA-11図による。
- 高耐久ウレタン塗膜防水は手塗工法とする。

工事名	京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  5
図面名称	百周年時計台記念館 2階平面図	縮尺	設計日	
		A1:200 A3:400	令和8年6月	



凡例  
→ 水勾配を示す。  
設備機械置場範囲を示す。

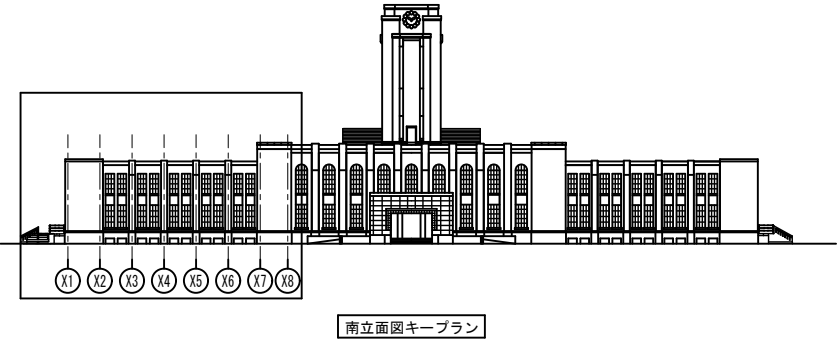
適用	符号	改修内容
○		改修範囲外
○	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2） 設備機械基礎：既存防水モルタル塗面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（Y2）
○	Y3	既存FRP防水面、高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（平場Y3：X-1）
○	Y4 Y5	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y4、立上り：Y5）
○	Y6	既存ウレタン塗膜防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場、機械目隠し基礎、機械基礎：Y6）
○		外壁改修範囲（改修詳細は詳細図参照）
		外構壁面部改修範囲（P-○、改-○部分は詳細図参照）
	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄（100Mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
	OW2	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビソング）タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
	OW4	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OW5	既存花崗岩張り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
	OW7	既存プaster塗下地EP面、補修の上、EP塗替え
	OW8	既存コンクリート打放し補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法） 既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW10	既存アルミパネルt2.0面、高圧洗浄の上、超耐久・超低汚染型弱溶剤フッ素樹脂塗料塗
	OW11	外構壁面部：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW12	外構壁面部：既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビソング）人造石洗い出し部の50%程度 既存RC下地人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
	OF1	外構部：既存磁器質タイル貼り面、花崗岩貼り面、SUS製庇、高圧洗浄
	OF2	外構部：既存コンクリート直押え、防水モルタル塗面、高圧洗浄
	GC1	軒天：既存コンクリート打放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	GC2	軒天：既存ケイカル板EP塗面、EP塗替え
	GC3	軒天：既存プaster塗下地EP塗面、EP塗替え
○	•	既存脱気装置（既存のまま）
○	P-○	部分詳細図参照
○	改-○	部分詳細図参照
特記事項		
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。		
既存窓下部分の花崗岩周囲はシーリング10×10打替えとする。		
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。		
既存人造石洗い出し部分の形状寸法は詳細図による。		
建具下部花崗岩の形状寸法はA-10図及びA-11図による。		
高耐久ウレタン塗膜防水は手塗工法とする。		

工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  6
図面名称  百周年時計台記念館 PH平面図・屋根伏図	縮尺 A1:200 A3:400	設計日 令和8年6月	

適用	符号	改修内容
		改修範囲外
○	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2）
○	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカーベニング）タイル貼り面の30%程度
○	OW2	既存タイル貼り面、高圧洗浄（100Mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
○	OW3	既存タイル貼り補修（浮き部分アカーベニング）タイル貼り面の30%程度
○	OW4	既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗 既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカーベニング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃 既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカーベニング）人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗 ※○英字はリブ形状を示す。 ※A-35図 人造石洗い出し部詳細図
○	OW5	既存花崗岩貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
○	OW8	既存コンクリート打放補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法） 既存コンクリート打ち放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	-----	シーリングW10打替え
○	-----	シーリングW20打替え
○	◀	打継目地・ひび割れ誘発目地・GRCジョイント目地20×20
○	◁	タイル仕上部分伸縮調整目地10×10
○	P-○	部分詳細図参照

特記事項  
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。  
既存窓下花崗岩張り周囲はシーリング10×10打替えとする。  
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。  
屋上1の水勾配による見付けは省略。

既存建具リスト		
建具符号	W	H
AW-B1	1, 140	990
AW-B1'	1, 140	990
AW-15	1, 060	2, 830
AW-13	1, 060	2, 830
AW-16	1, 060	2, 830
AW-32	1, 060	2, 430
AW-32'	1, 060	2, 430



工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事		図面番号	
図面名称 百周年時計台記念館 南立面詳細図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 令和8年6月	
		7	





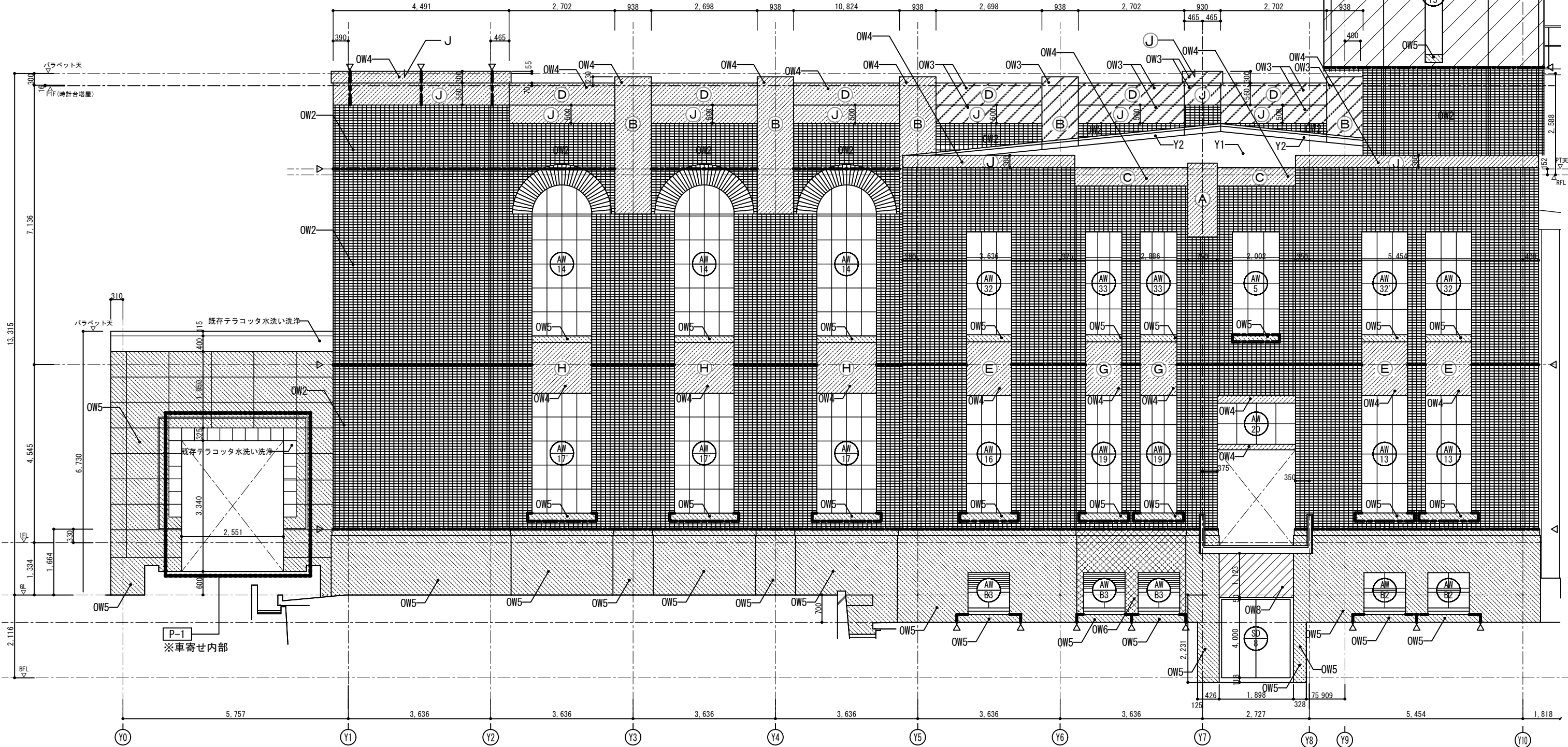
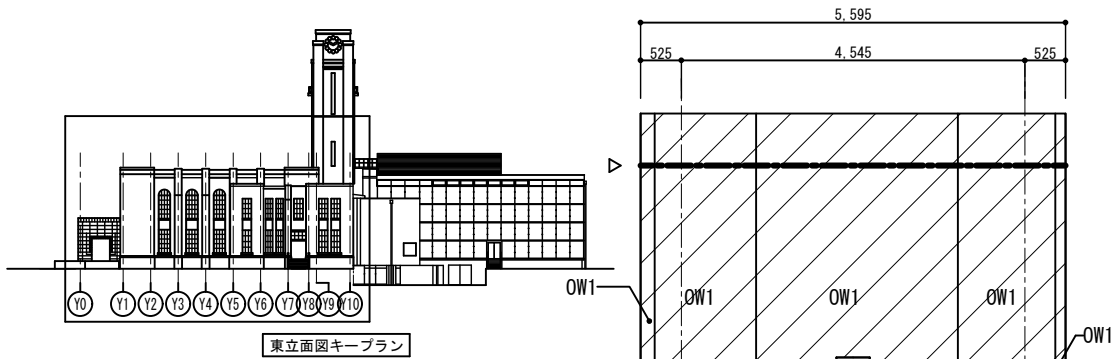


適用	符号	改修内容
		改修範囲外
○	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水（平場：Y1、立上り：Y2）
○	OW1	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビシニング）タイル貼り面の30%程度
○	OW2	既存タイル貼り面、高圧洗浄（100Mpa・既存塗膜剥離）、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
○	OW3	既存タイル貼り補修（浮き部分アカビシニング）タイル貼り面の30%程度
○	OW3	既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW3	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビシニング）人造石洗い出し部の50%程度
○	OW4	既存人造石洗い出し面、清掃
○	OW4	既存人造石洗い出し補修（浮き部分アカビシニング）人造石洗い出し部の50%程度
○	OW4	既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗
○	OW5	既存花崗岩貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
○	OW8	既存コンクリート打放補修（クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法）
○	OW8	既存コンクリート打ち放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗

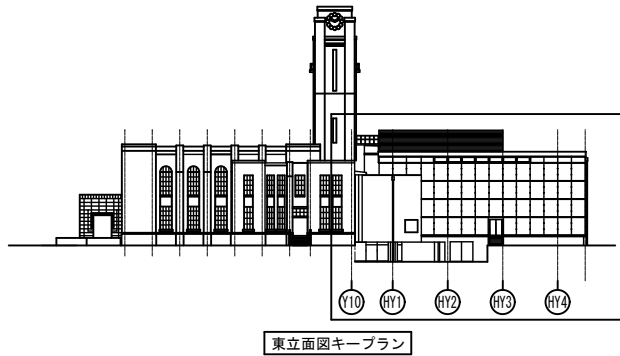
適用	符号	改修内容
○	――	シーリングW10打替え
	――	シーリングW20打替え
	◀	打継目地・ひび割れ誘発目地・GRCジョイント目地20×20
○	◀	タイル仕上部分伸縮調整目地10×10
○	P-○	部分詳細図参照

特記事項  
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水压を決定する。  
既存窓下花崗岩張り周囲はシーリング10×10打替えとする。  
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。  
屋上1の水勾配による見付けは省略。

既存建具リスト		
建具符号	W	H
AW-B2	1,060	900
AW-B3	1,060	900
AW-13	1,060	2,830
AW-14	1,410	3,640
AW-16	1,060	2,830
AW-17	1,380	2,830
AW-17'	1,380	2,830
AW-19	830	2,283
AW-20	1,850	970
AW-32	1,060	2,430
AW-32'	1,060	2,430
AW-33	830	2,430
AW-T5	385	2,820
SD-8	1,750	2,100



工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  10
図面名称  百周年時計台記念館 東立面詳細図（1）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 令和8年6月	

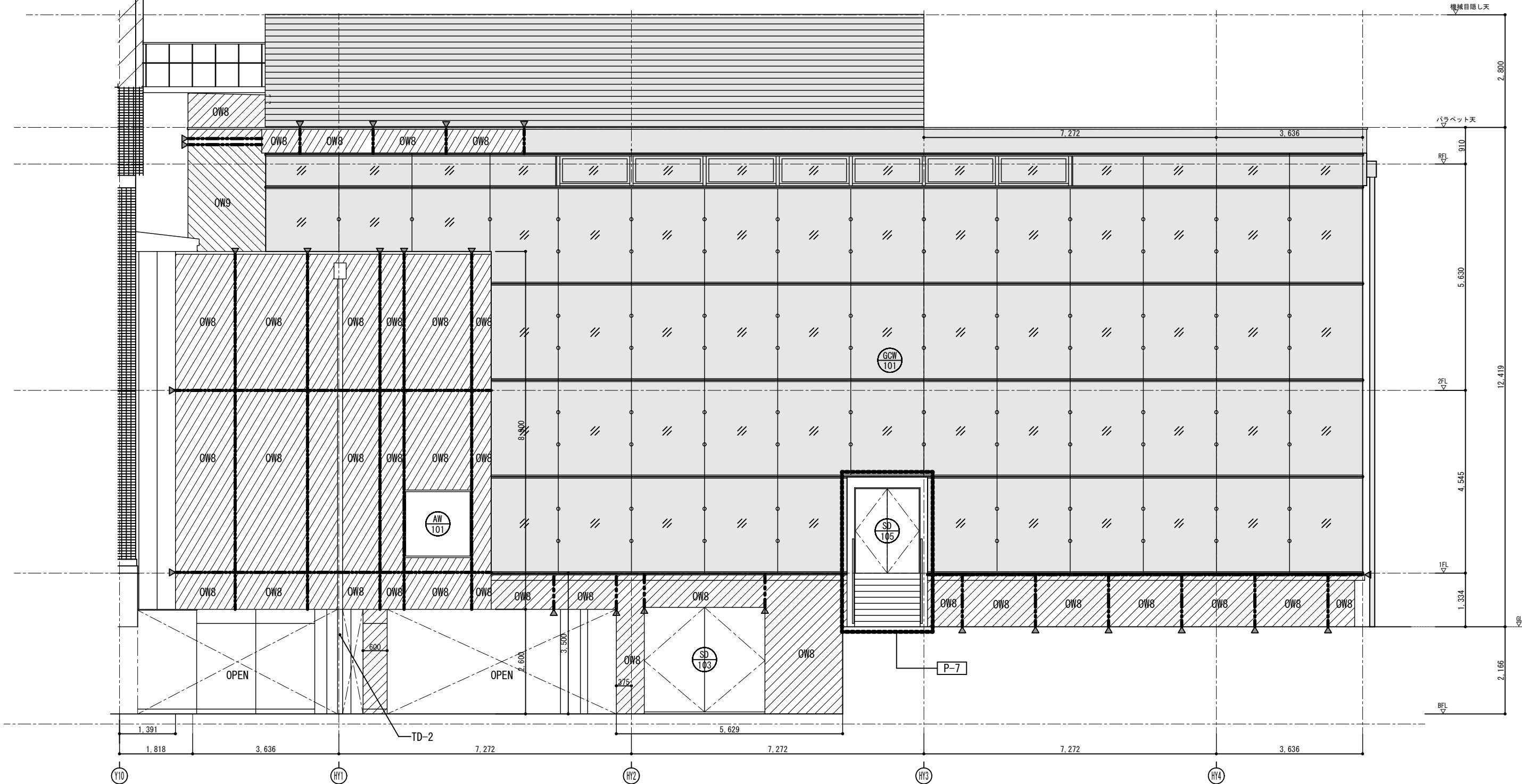


既存建具リスト		
建具符号	W	H
AW-101	1,600	1,650
SD-103	3,000	2,425
SD-105	1,596	2,419

適用	符号	改修内容
○		改修範囲外
	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、高耐久ウレタン塗膜防水(平場:Y1、立上り:Y2)
	OW1	既存タイル貼り補修(浮き部分ｱｶｰﾋﾞﾝｸﾞ) タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄(100Mpa・既存塗膜剥離)、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
	OW2	既存タイル貼り補修(浮き部分ｱｶｰﾋﾞﾝｸﾞ) タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修(浮き部分ｱｶｰﾋﾞﾝｸﾞ) 人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
	OW4	既存人造石洗い出し補修(浮き部分ｱｶｰﾋﾞﾝｸﾞ) 人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗 ※○英字はリブ形状を示す。 ※A-35図 人造石洗い出し部詳細図
	OW5	既存花崗岩貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
○	OW8	既存コンクリート打放補修(クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法) 既存コンクリート打ち放し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗

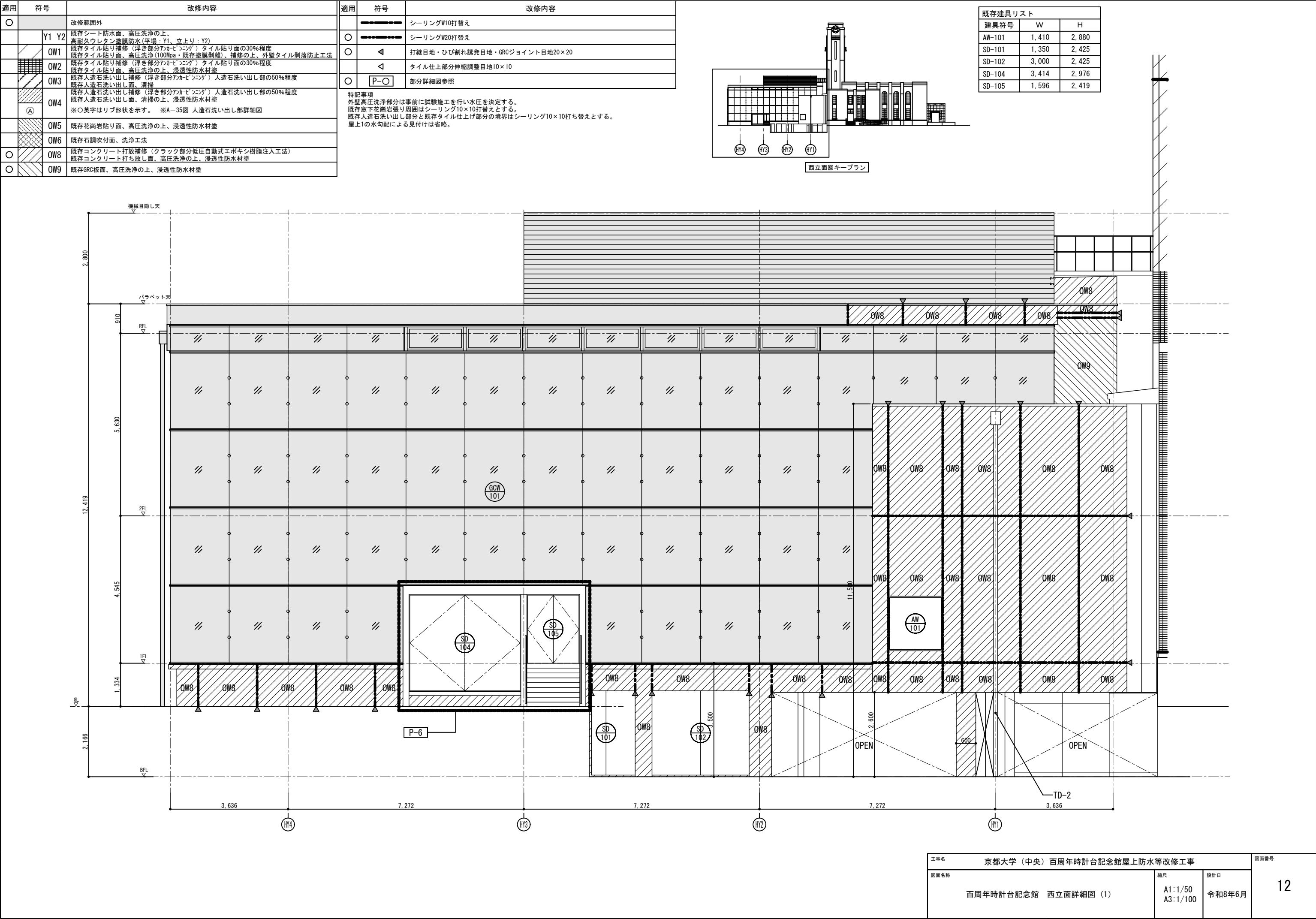
適用	符号	改修内容
	――	シーリングW10打替え
○	――	シーリングW20打替え
○	◀	打継目地・ひび割れ誘発目地・GRCジョイント目地20×20
	◀	タイル仕上部分伸縮調整目地10×10
○	P-○	部分詳細図参照

特記事項  
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。  
既存窓下花崗岩張り周囲はシーリング10×10打替えとする。  
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。  
屋上1の水勾配による見付けは省略。



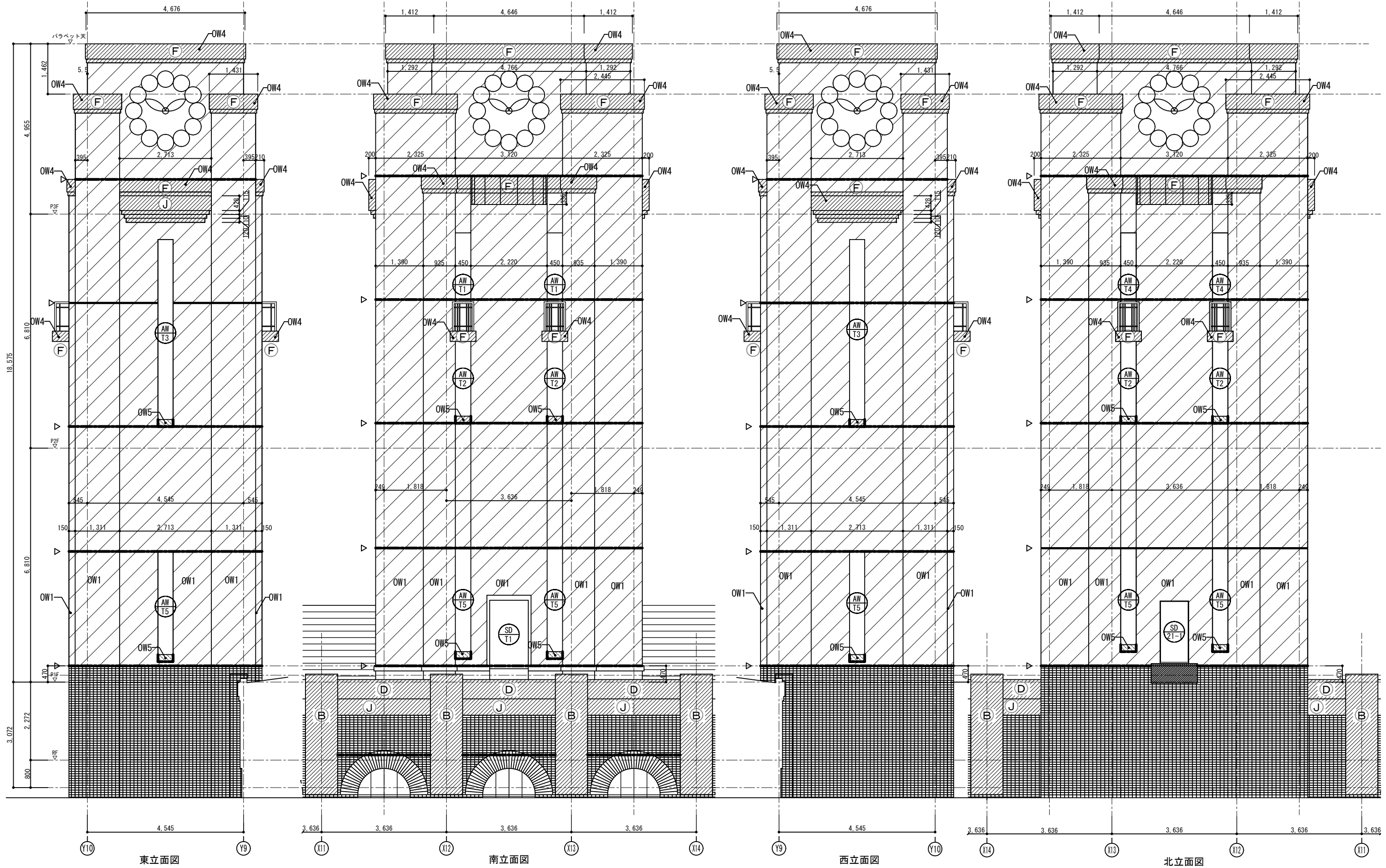
工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号  11
図面名称  百周年時計台記念館 東立面詳細図（2）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 令和8年6月	














既存建具リストはA-21図参照



工事名 京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事			図面番号 14
図面名称 百周年時計台記念館 塔屋立面詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	設計日 令和8年6月	



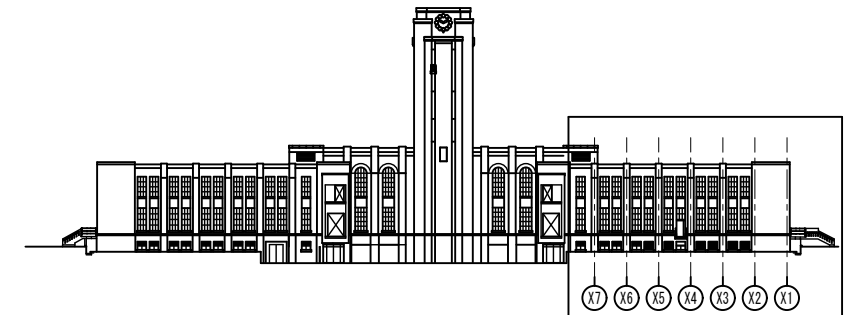


適用	符号	改修内容
		改修範囲外
○	Y1 Y2	既存シート防水面、高圧洗浄の上、 高耐久ウレタン塗膜防水(平場: Y1、立上り: Y2)
	OW1	既存タイル貼り補修(浮き部分アカーベニンク) タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄(100Mpa、既存塗膜剥離)、補修の上、外壁タイル剥落防止工法
○	 OW2	既存タイル貼り補修(浮き部分アカーベニンク) タイル貼り面の30%程度 既存タイル貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW3	既存人造石洗い出し補修(浮き部分アカーベニンク) 人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃
○	 OW4	既存人造石洗い出し補修(浮き部分アカーベニンク) 人造石洗い出し部の50%程度 既存人造石洗い出し面、清掃の上、浸透性防水材塗 ※○英字はリブ形状を示す。 ※A～35図 人造石洗い出し部詳細図
○	 OW5	既存花崗岩貼り面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
○	 OW6	既存石調吹付面、洗浄工法
	OW8	既存コンクリート打放補修(クラック部分低圧自動式エポキシ樹脂注入工法) 既存コンクリート打ち直し面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗
	OW9	既存GRC板面、高圧洗浄の上、浸透性防水材塗

適用	符号	改修内容
○		シーリングW10打替え
		シーリングW20打替え
		打継目地・ひび割れ誘発目地・GRCジョイント目地20×20
○		タイル仕上部分伸縮調整目地10×10
○		部分詳細図参照

特記事項  
外壁高圧洗浄部分は事前に試験施工を行い水圧を決定する。  
既存窓下花崗岩張り周囲はシーリング10×10打替えとする。  
既存人造石洗い出し部分と既存タイル仕上げ部分の境界はシーリング10×10打ち替えとする。  
屋上1の水勾配による見付けは省略。

既存建具リスト		
建具符号	W	H
AW-4	1.060	2.800
AW-4A	1.060	2.800
AW-4C	1.060	2.800
AW-4D	1.060	2.800
AW-4E	1.060	2.800
AW-5	1.060	2.390
AW-5A	1.060	2.390
AW-5B	1.060	2.390
AW-5C	1.060	2.390
AW-5D	1.060	2.390
AW-11A	1.050	885
AW-12	1.050	885
AG-1	1.050	885
AG-3	2.730	365



北立面図キープラン



工事名	京都大学（中央）百周年時計台記念館屋上防水等改修工事		図面番号
図面名称	縮尺	設計日	16
百周年時計台記念館 北立面詳細図（2）	A1:1/50 A3:1/100	令和8年6月	

